

事務事業評価シート(平成24年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
61413	ほたるチャンネル事業	まちづくり政策課	情報通信係	山田 勝己	加藤 恒男	
		一次評価年月日	平成 25 年 6 月 6 日	連絡先〔内線〕	2620	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0225	情報通信事業事務	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	6章	参加と交流のまちづくり	
		節	(コード選択)	1節	協働のまちづくりの推進	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	4項	協働のまちづくりのための情報提供	
目〔主な施策〕		(コード選択)	1目	多様な広報による協働のまちづくりの推進		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他		
事務期間	(開始) 9 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

ほたるチャンネル視聴者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町の行政情報や学校・保育園・地域の情報、上伊那地域の情報などを広く町民に知っていただく

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 町の行政情報や地域情報を「ほたるTHE-WEEK」「町からのお知らせ」などの番組を制作し放映す。
- 2 JA上伊那が制作する「る～らる」を放映し農業情報を提供する
- 3 伊那ケーブルテレビ制作のニュースダイジェストを放映し、伊那市、南箕輪村、箕輪町の情報を提供する
- 4 町内企業の紹介番組「まちの活力見聞録」を制作し放映する

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	ほたるチャンネル番組放送視聴可能世帯率		92	93	95	0.98	95
	説明	町内世帯のうちLCV加入世帯の割合		目標値設定の根拠 LCV(株)調べ				
②	指標名							0
	説明			目標値設定の根拠				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		23年度	24年度	27年度 (見込み)	達成率	27	年度 (見込み)	
①	指標名	ほたるチャンネル番組制作件数		203	183	230	0.80	230
	説明	情報を提供するための番組制作年間件数		目標値設定の根拠 過去5年間の平均				
②	指標名							0
	説明			目標値設定の根拠				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+② (千円)		平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み	平成25年度 見込み																		
		22,427	21,832	21,820	26,633																		
対前年比 (%)		/	97.3	99.9	122.1																		
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0																		
B) 一般財源(税金)		22,427	21,832	21,820	26,633																		
①事業費 (千円)		9,057	8,595	13,090	19,138																		
対前年比 (%)		/	94.9	152.3	146.2																		
②人件費の概算 (千円)		13,370	13,237	8,730	7,495																		
対前年比 (%)		/	99	66	85.8																		
	課長	課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25	H23	H24	H25								
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	0.25	0.00	0.50	0.50	1.00	0.75	0.75	8,418	8,149	4,910	4,951			
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)												2.00	1.50	1.00	2.00	1.50	1.00	4,952	5,088	3,820	2,544

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
		B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口**を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)	
・商工会、豊南短大生の番組、まちのうた等各種PR番組、CM、プロモーションビデオの制作等新企画に取り組むとともに、地元紙へ情報提供、話題づくりに努めました。 ・地域情報化実態調査により、視聴率や行政チャンネルへの要望を調査。視聴率(週1回以上視聴)は前回調査に比べ17%から25%とアップしました。 ・デジタル化により視聴できなくなった世帯については、チャンネル設定の訪問支援を実施しました。(調査期間中の訪問は25件) ・番組表の新聞掲載の要望に応え、地元紙の協力を得て、平成25年2月より週2回掲載を始めました。	

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	25年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
災害時の緊急情報を確実に伝達するため、日常の視聴率向上を図るとともに、送出システムを更新して緊急情報を迅速に放送できる仕組みを平成25年度に構築します。あわせて、他の放送事業者や自治体との広域連携体制に参加し、緊急情報の放送体制を強化します。	〔反映内容〕 送出システム更新(賃借料)

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
住民の知りたい情報把握に努め、放送内容の充実を図る。また、要望のある上伊那広域関係のニュースの放送も検討していく。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

→ a 上記 a~e を選択